

# 「第2期宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）」 パブリックコメントの実施結果について

## 1 実施概要

- (1) 意見募集期間 : 令和2年2月17日（月曜日）から令和2年3月4日（水曜日）まで
- (2) 意見提出者 : 1 人
- (3) 意見等件数 : 8 件

## 2 素案に対する意見と市の考え方

項目	件数	市の考え方の区分			
		A: 意見を踏まえて計画案 に反映するもの	B: 意見の趣旨がすでに計 画案に反映されている もの	C: 今後の参考とさせてい ただくもの	D: その他
計画全般について	1			1	
目標と方針について	4	1		1	2
具体的な施策について	2	2			
その他の意見や提案等	1	1			
計	8	4	0	2	2

## 意見と市の考え方

貴重なご意見ありがとうございます。下記のとおり、いただいたご意見に対して市の考え方を回答します。

No.	素案のページ	意見	市の考え方	区分
<b>◆計画全般について</b>				
1	-	総合戦略に取り組むにあたり、推進体制、進行管理、優先順位、それらを遂行しうる人材の登用・育成について、実行計画を作成することが重要ではないか。その際、市庁舎の建て替え等が進行することも踏まえ、常盤通りエリアを総合戦略の優先順位を検討する判断材料としてはどうか。	総合戦略への取組については、現在、毎年度当初に、施策の具体的な取組・進め方について具体化し記した部・課方針書を作成し、施策・事業・組織のマネジメントを行っているところであり、同様に進めていきたいと考えています。 また、常盤通りエリアについては、中心市街地活性化基本計画では、常盤通りを含む「市役所周辺地区」を重点地区の一つとして位置付け、市庁舎の建替えや常盤通りの歩行者空間の質的向上を図る整備、さらには、旧山口井筒屋宇部店の改修など、中心市街地の核となる事業を集中して取り組むこととしています。	C
<b>◆目標と方針について</b>				
2	10	KGIとして、中心市街地の休日1日当たりの通行者数が設定されているが、対象エリアを中心市街地全体とするのではなく、施策を集中的に行うエリアの通行者数としたほうが、具体的な施策の効果検証を行う上でも、よいのではないか。	中心市街地の休日1日当たりの通行者数については、中心市街地全体の賑わいが図れる指標として、中心市街地内の28地点を計測箇所として設定し、20年近く取得してきました。この指標を引き続き目標指標として設定することで、経年比較が可能となることから、KGIとして採用したいと考えています。 なお、ご意見のとおり、具体的に施策の効果を検証する必要があることから、中心市街地活性化基本計画では、市役所周辺地区を中心に8地点を計測箇所として、別途、目標指標に設定しており、この指標と併せて検証していきます。	D
3	21	「子どもに係る医療費助成制度の拡充」について、現行の制度を整理し、5年後の在り方（目標）をKPIに加えてはどうか。また、最終的には高校までの完全無償化（教育、医療）を目指すための過程と位置づけられることを期待したい。	子どもに係る医療費助成制度は、子育て家庭が安心して子どもを生み育てることができる環境を整えるための重要な施策と考えています。 制度の拡充については、子育て支援施策全体の中で総合的に検討していくため、個別のKPIの設定はしていませんが、現行制度の利用者数や助成額等の推移を分析・検証しながら、拡充のあり方を検討していきます。	C
4	27	農林水産業の振興のKPIに「スマート農業による戦略的作物の収穫量」を設定しているが、導入件数や生産性も考慮したKPIを設定するべきではないか。	スマート農業を促進する効果を測る指標としては、「収穫量の増加」と「収益の向上」があると考えているところですが、いずれも公表されている数値がないため、聞き取りにより把握することとなります。 その中で、収益については、デリケートな個人情報であることから、聞き取りが難しく、また、市場価格に左右されやすいため、正確にデータを把握することは困難であると考えています。 以上の理由により、「収穫量」をKPIの指標に設定したものです。	D

No.	素案のページ	意見	市の考え方	区分
5	34	関係人口の創出・拡大のKPI「宇部市の認知度」「ホームページの訪問数」について目標値が低いのではないか。	<p>「宇部市の認知度」について、2018年度の本市の認知度は、25.6点であり、調査対象全国1,000市区町村のうち318位です。（1,000市区町村：全国791市、東京都特別区23区及び地域ブランドへの取り組みが注目される町村）</p> <p>県内では、下関市42.0点、山口市34.6点などに次ぎ県内5番目という状況です。本市の魅力を戦略的に情報発信し、認知度の向上を図り、現状値25.6点から、33.0点程度まで向上させることで、これまでの全国順位318位から200位以内を目標にKPIを設定しています。</p> <p>また、ホームページの訪問数については、過去5年間（2013～2017年度）の訪問数は平均で約169万件でしたが、市フェイスブックでの積極的な市政情報の発信、また各課が作成するチラシにQRコードを掲載するなどして、ホームページ誘導の取り組みに力を入れてきました。</p> <p>目標値（2024年度訪問者数）については、ホームページリニューアル等による掲載内容の充実、多様な広報媒体を用いた市政情報の積極的な発信を引き続き行っていくこととし、御意見を踏まえ、目標値を「220万件」から「250万件」に修正します。</p>	A
◆具体的な施策について				
6	19	子どもの育ちをつなげ、夢を育む教育の推進の中に、「彫刻教育の推進」が取組としてあげられているが、彫刻教育のみならず、宇部の歴史や礎となった精神を学ぶ・知る教育も、宇部ならではの特色ある教育として実施してはどうか。	<p>ご意見のあった宇部の歴史や礎となった精神を学ぶ・知る教育については、P32の「ふるさと学習の充実」において、宇部市の歴史や史跡、文化、産業、公共施設など、現在の宇部市を築いてきた、あるいは宇部を構成している社会的な事物を現地視察（フィールドワーク）により、教職員が「宇部の精神(こころ)」について学ぶ機会を設けるとともに、宇部市で学ぶ全ての子どもたちが郷土学習を行えるよう、ふるさと学習副読本を作成し、授業で活用することとしています。</p> <p>なお、本市の先人たちの思いや活動をより深く学ぶため「渡辺祐策翁をはじめ、本市の未来をより良くしたいと考え、行動した先人の思いや活動を学び、起業・創業マインドにも触れることで、将来、本市で活躍する人財を育成します。」を追記します。</p>	A
7	29	誰もが働ける環境の実現において、就職した若者への就労継続支援の視点も取り入れはどうか。 例えば、（市内企業の大半を中小・小規模企業が多く、入社同期が少なく、同期で支えあうといったことが困難なことから、）企業を超えて横断的に社員が交流を持てる仕組みづくりなど。	<p>ご指摘のとおり、就職した若者への就労継続支援のためには、小さな職場で孤立しがちな新入社員が不安や悩みを気軽に相談できる「社外同期」の仲間を持てるような施策が必要です。</p> <p>P29の「JOBフェア等の開催」に、「宇部商工会議所等と連携して、新入社員の交流の場づくりを行い、離職防止や定着の促進につなげます。」を追記します。（他ページ記載の「JOBフェア等の開催」にも同様に追記します。）</p>	A
◆その他の意見や提案等				
8	36	質の高い暮らしのためのまちの機能の充実の「住み続けられる中山間地域づくり」に「中山間地域へさらなる移住を促進」とあるが、宇部市立地適正化計画との整合を踏まえた記載にすべきではないか。	<p>中山間地域においては、人口減少や少子高齢化が今後さらに進行するおそれがあり、地域コミュニティや地域活力の維持のため、様々な取組を行っていく必要があります。</p> <p>一方で、ご指摘のあった宇部市立地適正化計画との整合も考慮し、本文を「中山間地域の課題解決に向け～中山間地域へのさらなる移住を促進します。」から「住み続けられる中山間地域づくりに向けて、一定の人口規模を維持するため～中山間地域への移住を促進します。」へ修正します。</p>	A